

平成 28 年度 社会福祉法人創世福祉事業団 事業計画

■保育園部門

【基本方針】

キリスト教の愛の精神を基盤に豊かな人間性を備えた幼児の育成を念願し、児童福祉法に基づき自分で考え、工夫し判断を下すことのできる、いわゆる創造性豊かな幅のある人間の基礎づくりをし、恵まれた自然環境を生かし、自由な遊びの中から健康の増進と、友だち間の協調の精神を培い、知育に偏することなく体育、徳育を加えて調和のとれた円満な人格形成を目標として、達成するために徹底的な研鑽と綿密な計画性を持って保育に万全を期する。更に保護者の就労に併せて保育時間の伸縮に努め社会福祉増進に寄与するものとする。

【保育目標】

自然との調和の中で、キリスト教の愛の精神を基盤に、知育・徳育・体育の三つを統一融合した保育を施し、創造力豊かな、健康で個性に富んだ人間の形成をめざす。

●知 育 自主性のある子どもに育てます。

子供にとっての生活は遊びそのものです。そして遊びとは「学び」でもあります。子どもは遊びながら、自分から興味や関心をもって、周囲の友だちや大人、又いろいろな遊具や道具に意欲的にかかわっていきます。0、1、2、3、4、5歳・・・人間形成のいちばん大切なこの時期に、たくさん遊んでいろいろな体験を通して、自分で考え、自分で判断し、自分で行動できる子に育てていきたいと思ひます。

●徳 育 子ども無限の可能性の芽を育てます。

遊びの中には” やったー ”という満足感、又葛藤や悲しみなどを味わう体験もあります。これらのことを幼い頃にいっぱい体験してこそ、人間として成長していく時に人の痛みや人に対する思いやり、優しさなども育っていきます。園ではキリスト教の愛の精神を身近な体験から学び、思いやりや感謝する気持ちの持てる子に育てていきたいと思ひます。

●体 育 健康な子どもに育てます。

子どもは常に体を動かしています。エネルギーを発散させ全身を使って運動すると楽しく、開放感を味わい情緒が安定し充実感でいっぱいになります。” 自然の中でのびのびと ” この環境の中で集中力や筋力を発達させ、健康で明朗な子に育てていきたいと思ひます。

【事業目標】

1. 社会的な時代の要請、変化を俊敏にとらえ、その中で園の使命役割をしっかりと見据え、選択遂行できるようにする。
2. 地域に向けての情報発信や社会的認知、地域の専門職、地域住民との連携等地域と協働し、地域のニーズに対応した新たなネットワークづくりの力を培い支援力を高める。
3. 安全な環境づくり(生活・遊び・食)に努め、子供達の健康維持、推進ができるよう

にする。

4. 研修や自己研鑽を通して常に自らの人間性と専門性の向上に努め専門職としての責務を果たせるようにする。

■高齢者部門

【基本方針】

キリストの教え「黄金律」とその実践的模範の「洗足の教え」で「愛と謙遜の限りを尽くして人々の幸福のために仕え続ける」という施設運営基本理念を基に、21世紀を迎えた今、新しい形の福祉・介護を希求しながら、地球の皆様のため、より充実した質の高い福祉・介護・医療サービス等の提供に努める。

【基本理念】

●愛

キリストの愛の精神に基づき、利用者様へのお世話をさせていただくとともに、全職員が奉仕の精神により、真心を込めて接遇させていただきます。

●希望

利用者様と地域社会の皆様により充実した様々なサービスを行い、自立生活と社会復帰への希望が持てるようお手伝いさせていただきます。

●生きがい

緑豊かな自然環境の中で、利用者様・地域の方々と職員との心のふれあいを通じ、神と共に生きる喜び、感謝の心、うるおいと安らぎを感じていただけるような接遇を徹底させていただきます。

【事業目標】

1. 入所者数 医療的管理を高め、病院や居宅介護支援事業所との連携を積極的に行い、適正な利用率を維持する。
2. 通所者数 サービスの質の向上を通して信頼される事業所としての認知度を高めるとともに、ゆとりあるサービスの提供と個別活動の充実を図り、適正な利用率を維持する。
3. 在宅復帰の促進 積極的なコミュニケーションを通じた利用者ご本人やご家族のニーズの把握、介護度軽度の方や認知症の程度、生活環境を指標としつつ、施設の入所、通所サービス、他事業所との連携による「安心感の持てる在宅復帰の実現」に努める。
4. 個別アセスメントやケアマネジメントを通じ、接遇の点検・改善を図り、「高齢者の尊厳あるケアの確立」に取り組んでいく。
5. 感染症対策を重視したうえで、異常の早期発見・早期対応、口腔ケア等の基本的ケアの徹底に努め、健康管理の強化を継続していく。
6. 介護報酬改定に対し、その知識を共有し適正な取得に取り組んでいく。